

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2005-516986(P2005-516986A)

【公表日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-565415(P2003-565415)

【国際特許分類】

C 07 C 271/26 (2006.01)
A 61 K 31/27 (2006.01)
A 61 K 31/343 (2006.01)
A 61 K 31/404 (2006.01)
A 61 K 31/4402 (2006.01)
A 61 K 31/4406 (2006.01)
A 61 K 31/4409 (2006.01)
A 61 K 31/443 (2006.01)
A 61 K 31/4439 (2006.01)
A 61 K 31/444 (2006.01)
A 61 K 31/47 (2006.01)
A 61 K 31/472 (2006.01)
A 61 K 31/5375 (2006.01)
A 61 P 1/08 (2006.01)
A 61 P 1/14 (2006.01)
A 61 P 3/04 (2006.01)
A 61 P 9/00 (2006.01)
A 61 P 25/02 (2006.01)
A 61 P 25/04 (2006.01)
A 61 P 25/14 (2006.01)
A 61 P 25/22 (2006.01)
A 61 P 25/28 (2006.01)
A 61 P 27/06 (2006.01)
A 61 P 29/02 (2006.01)
A 61 P 43/00 (2006.01)
C 07 C 271/48 (2006.01)
C 07 C 271/58 (2006.01)
C 07 C 271/60 (2006.01)
C 07 D 209/08 (2006.01)
C 07 D 209/40 (2006.01)
C 07 D 213/53 (2006.01)
C 07 D 213/64 (2006.01)
C 07 D 213/65 (2006.01)
C 07 D 213/68 (2006.01)
C 07 D 215/20 (2006.01)
C 07 D 217/02 (2006.01)
C 07 D 295/08 (2006.01)
C 07 D 307/91 (2006.01)
C 07 D 401/12 (2006.01)
C 07 D 405/12 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 271/26
A 6 1 K 31/27
A 6 1 K 31/343
A 6 1 K 31/404
A 6 1 K 31/4402
A 6 1 K 31/4406
A 6 1 K 31/4409
A 6 1 K 31/443
A 6 1 K 31/4439
A 6 1 K 31/444
A 6 1 K 31/47
A 6 1 K 31/472
A 6 1 K 31/5375
A 6 1 P 1/08
A 6 1 P 1/14
A 6 1 P 3/04
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 25/02
A 6 1 P 25/04
A 6 1 P 25/14
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 27/06
A 6 1 P 29/02
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 0 7 C 271/48
C 0 7 C 271/58
C 0 7 C 271/60 C S P
C 0 7 D 209/08
C 0 7 D 209/40
C 0 7 D 213/53
C 0 7 D 213/64
C 0 7 D 213/65
C 0 7 D 213/68
C 0 7 D 215/20
C 0 7 D 217/02
C 0 7 D 295/08
C 0 7 D 307/91
C 0 7 D 401/12
C 0 7 D 405/12

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月7日(2005.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

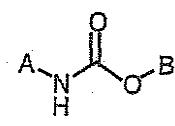
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I) :

【化1】

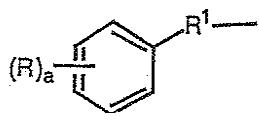


(I)

[式中、

Aは、ジベンゾフラニル、ジベンゾチエニル、ナフチル、インドリル、フルオレニル、またはカルバゾリルであるか、あるいは式II :

【化2】



(II)

(式中、

aは、1または2であり；

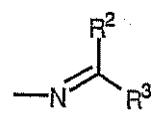
Rは、C₄～₁₂アルコキシであり；

R¹は、結合、またはC₁～₃の分枝もしくは直鎖の脂肪族炭化水素である)によって示され；

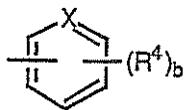
そして、

Bは、C₁～₄アルキル、インドリル、ベンゾフラニル、ベンゾチエニル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチエニル、フルオレニル、カルバゾリル、キノリニルまたはイソキノリニル(各々は場合により、C₁～₄の分枝もしくは直鎖の脂肪族炭化水素、C₁～₄アルコキシ、ハロ、ハロアルキル、ニトロおよび(C₁～₃アルキル)₀～₂アミノ-からなる群から選ばれる1つ以上の同じかまたは異なる置換基で置換される)であるか、あるいは式IIIまたは式IV：

【化3】



(III) 若しくは



(IV)

(式中、

R²は、水素、ハロ、またはC₁～₄アルキルであり；

R³は、C₁～₄アルキル、ピリジル、ハロ、または場合によりハロ、C₁～₄ハロアルキルおよびニトロからなる群から選ばれる1つ以上の同じかもしくは異なる置換基で置換されたフェニルであり；

Xは、CHまたは窒素であり；

R⁴は、C₁～₄の分枝もしくは直鎖の脂肪族炭化水素、C₁～₄アルコキシ、ハロ、ハロアルキル、ニトロ、またはアミノであり；そして、

bは、0～3であり；

但し、R²がハロである場合には、R³はハロではなく；そして、

R³がハロである場合には、R²はハロではない)

によって示される]

で示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは溶媒和物。

【請求項2】

Aはジベンゾフラニルである、請求項1記載の化合物。

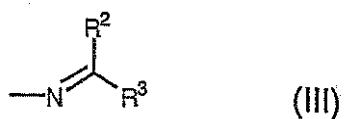
【請求項3】

Aはインドリルである、請求項1記載の化合物。

【請求項 4】

B は、式 I II :

【化 4】



[式中、

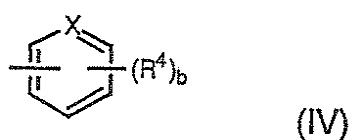
 R^2 は、水素またはメチルであり；そして、 R^3 は、メチル、または1つ以上のハロ、ハロアルキルもしくはニトロで置換されたフェニルである]

によって示される、請求項1記載の化合物。

【請求項 5】

式 I V :

【化 5】



[式中、

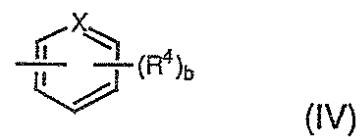
 X は、C H であり； R^4 は、ハロであり；そして、 b は、1である]

によって示される、請求項1記載の化合物。

【請求項 6】

B は、式 I V :

【化 6】



[式中、

 X は、窒素であり；そして、 b は、0である]

によって示される、請求項1記載の化合物。

【請求項 7】

B は、式 V :

【化 7】



[式中、

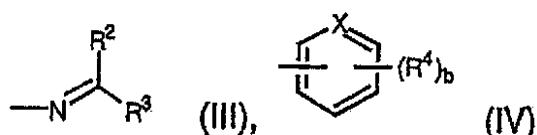
 X は、窒素である]

によって示される、請求項1記載の化合物。

【請求項 8】

B は、式 I II または式 I V :

【化8】



[式中、

R²は、水素またはメチルであり；R³は、C₁～₄アルキル、ピリジル、または場合により1つ以上のハロ、ハロアルキルもしくはニトロで置換されたフェニルであり；

Xは、CHまたは窒素であり；

R⁴は、C₁～₄の分枝もしくは直鎖の脂肪族炭化水素、C₁～₄アルコキシ、ハロ、ハロアルキル、またはアミノであり；そして、

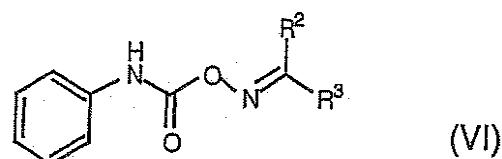
bは、0～3である]

によって示される、請求項1記載の化合物。

【請求項9】

式V I :

【化9】



[式中、

aは、1であり；

Rは、C₄～₁₂アルコキシであり；R²は、水素またはメチルであり；そして、R³は、メチル、ピリジル、または場合により1つ以上のハロ、ハロアルキルもしくはニトロで置換されたフェニルである]

によって示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは溶媒和物。

【請求項10】

R²は水素であり、そしてR³は、場合により1つ以上のハロ、ハロアルキルまたはニトロで置換されたフェニルである、請求項9記載の化合物。

【請求項11】

R²はメチルであり、そしてR³はメチルである、請求項9記載の化合物。

【請求項12】

ピリジン-3-カルバルデヒド、O-[[[(4-ウンデシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ピリジン-3-カルバルデヒド、O-[[[(4-ノニルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

4-フルオロベンズアルデヒド、O-[[[(4-デシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

4-フルオロベンズアルデヒド、O-[[[(4-オクチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド、O-[[[(4-ノニルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

4-フルオロベンズアルデヒド、O-[[[(4-ノニルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

3,4-ジフルオロベンズアルデヒド、O-[[[(4-ノニルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

2 , 6 - ジフルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

2 , 4 - ジフルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

3 - フルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ピリジン - 3 - カルバルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ベンズアルデヒド , O - [[(4 - デシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ピリジン - 3 - カルバルデヒド , O - [[(4 - デシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ピリジン - 3 - カルバルデヒド , O - [[(4 - ドデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ベンズアルデヒド , O - [[(4 - オクチルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

2 , 3 - ジフルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ウンデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

2 , 4 , 5 - トリフルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ウンデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

4 - トリフルオロメチル - ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ピリジン - 3 - カルバルデヒド , O - [[(4 - ヘプチルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

2 - フルオロ - 3 - トリフルオロメチル - ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

(4 - ウンデシルオキシ - フェニル) - カルバミン酸フェニルエステル ;

プロパン - 2 - オン , O - [[(4 - ヘプチルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

プロパン - 2 - オン , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

2 - フルオロ - 5 - トリフルオロメチル - ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ノニルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

4 - フルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ペンチルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

4 - フルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ブトキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ピリジン - 3 - カルバルデヒド , O - [[(4 - ヘプチルオキシフェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

4 - フルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ペンチルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

4 - フルオロベンズアルデヒド , O - [[(4 - ドデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

プロパン - 2 - オン , O - [[(4 - ドデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ベンズアルデヒド , O - [[(4 - ドデシルオキシ - フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム ;

ム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ペンチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

2,4-ジフルオロベンズアルデヒド，ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ノナノイルアミノ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

4-フルオロベンズアルデヒド，O-[[[(4-ヘプチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ペンチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

プロパン-2-オン，O-[[[(4-ウンデシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

プロパン-2-オン，O-[[[(4-ドデシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ピリジン-3-カルバルデヒド，O-[[[(4-ペンチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-プロポキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ヘプチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ブトキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ベンズアルデヒド，O-[[[(4-ヘキシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

プロパン-2-オン，O-[[[(4-ヘプチルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；

ピリジン-3-カルバルデヒド，O-[[[(4-ヘキシルオキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム；および、

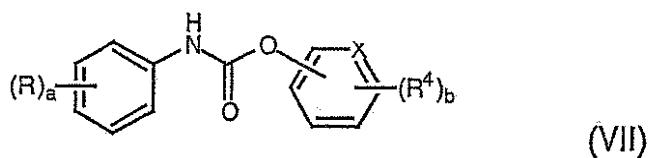
ピリジン-3-カルバルデヒド，O-[[[(4-ブトキシ-フェニル)アミノ]カルボニル]オキシム

からなる群から選ばれる、請求項9記載の化合物。

【請求項13】

式VII：

【化10】



[式中、

aは、1であり；

Rは、C₄～C₁₂アルコキシであり；

R⁴は、ハロであり；

Xは、CHまたは窒素であり；そして、

bは、0～2であって；

但し、Xが窒素である場合には、bは0である]

によって示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは溶媒和物。

【請求項14】

Xは、

(4-ウンデシルオキシ-フェニル)-カルバミン酸フェニルエステル；

(4-デシルオキシ-フェニル)-カルバミン酸フェニルエステル；

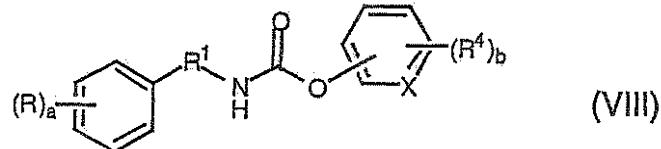
(4-ドデシルオキシ-フェニル)-カルバミン酸フェニルエステル；

(4 - オクチルオキシ - フェニル) - カルバミン酸 2 - フルオロ - フェニルエステル；
 (4 - オクチルオキシ - フェニル) - カルバミン酸フェニルエステル；
 (4 - ヘプチルオキシ - フェニル) - カルバミン酸フェニルエステル；および
 (4 - デシルオキシ - フェニル) - カルバミン酸 2 - フルオロ - フェニルエステル、
 からなる群から選ばれる C H である、請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 1 5】

式 V I I I :

【化 1 1】



[式中、

a は、1 であり；

R は、C₄ ~ C₁₂ アルコキシであり；R¹ は、C₁ ~ C₃ の分枝または直鎖の脂肪族炭化水素であり；R⁴ は、フェニル、C₁ ~ C₃ アルコキシまたはハロであり；

X は、C H または窒素であり；そして、

b は、2 である]

によって示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは溶媒和物。

【請求項 1 6】

X は、

(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸 4 - フルオロ - フェニルエステル；

ピリジン - 3 - カルバルデヒド、O - [(4 - ブトキシ - ベンジル)アミノ]カルボニル]オキシム；

(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸フェニルエステル；

[1 - (4 - ブトキシ - フェニル) - プロピル] - カルバミン酸 2 - フルオロ - フェニルエステル；

(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸 2 , 4 - ジフルオロ - フェニルエステル；

(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸 4 - メトキシ - フェニルエステル；

[1 - (4 - ブトキシ - フェニル) - プロピル] - カルバミン酸 4 - フルオロ - フェニルエステル；

(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸 2 - フルオロ - フェニルエステル；および

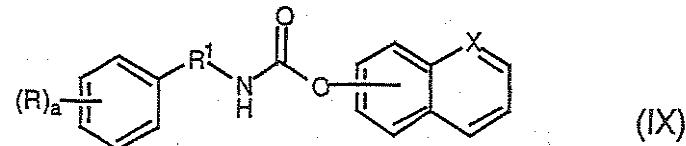
(4 - ブトキシ - ベンジル) - カルバミン酸 3 - クロロ - フェニルエステル、

からなる群から選ばれる C H である、請求項 1 5 記載の化合物。

【請求項 1 7】

式：

【化 1 2】



[式中、

a は、1 であり；

R は、C₄ ~ C₁₂ アルコキシであり；R¹ は、C₁ ~ C₃ の分枝または直鎖の脂肪族炭化水素であり；そして、

X は、窒素である]

によって示される化合物、またはその医薬的に許容し得る塩もしくは溶媒和物。

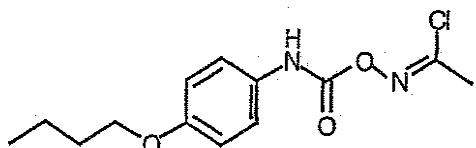
【請求項 1 8】

(4 - プトキシ - ベンジル) - カルバミン酸キノリン - 6 - イルエステル；および、
[1 - (4 - プトキシ - フェニル) - プロピル] - カルバミン酸キノリン - 6 - イルエステル

からなる群から選ばれる、請求項 1 7 記載の化合物。

【請求項 1 9】

哺乳動物における脂肪酸アミド加水分解酵素の阻害を必要とする病気または障害を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の式：

【化 1 3】

によって示される化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 0】

哺乳動物における脂肪酸アミド加水分解酵素の阻害を必要とする病気または障害を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 1】

哺乳動物における神経因性疼痛を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 2】

哺乳動物における急性痛を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 3】

哺乳動物における慢性痛を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 4】

哺乳動物における嘔吐を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 5】

哺乳動物における不安症を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 6】

哺乳動物における摂食行動を改変するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 7】

哺乳動物における運動障害を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 2 8】

哺乳動物における緑内障を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の

請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 29】

哺乳動物における脳損傷を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。

【請求項 30】

哺乳動物における循環器病を処置するための医薬組成物であって、治療学的に有効な量の請求項 1 記載の化合物、および医薬的に許容し得る担体、アジュバントまたは希釈物を含有する、該医薬組成物。